

2016
第110号
平成28年11月20日

編集／議会広報常任委員会
発行／えびの市議会

えびの 市議会だより



えびの米の収穫繁忙期（※10月撮影）

主な
内容

えびの市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の 定数を定める条例制定を議決……………	P 3
一般質問（登壇13名）……………	P 4～10
常任委員会での審査内容……………	P 11～12
特別委員会での審査内容……………	P 13～14
議会報告会のまとめ……………	P 16

12月定例会は11月30日開会予定です

9月定例会における議案等の審議結果

1. 議案等

会期：9月2日～9月26日（25日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第11号	平成27年度えびの市健全化判断比率について	—	—
報告第12号	平成27年度えびの市資金不足比率について	—	—
議案第51号	県営畑地帯総合整備事業(畝倉地区)による字界変更について	産 業 厚 生	原 案 可 決
議案第52号	えびの市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	産 業 厚 生	原 案 可 決 (12:1)
議案第53号	えびの市税条例の一部を改正する条例の一部改正について	総 務 教 育	原 案 可 決
議案第54号	えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	産 業 厚 生	原 案 可 決
議案第55号	えびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正について	産 業 厚 生	原 案 可 決
議案第56号	平成28年度えびの市一般会計予算の補正(第5号)について	予 算 審 査 特 別 委 員 会	原 案 可 決
議案第57号	平成28年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第2号)について	産 業 厚 生	原 案 可 決
議案第58号	平成28年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第1号)について	産 業 厚 生	原 案 可 決
議案第59号	平成28年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第1号)について	産 業 厚 生	原 案 可 決
議案第60号	平成28年度えびの市水道事業会計予算の補正(第1号)について	総 務 教 育	原 案 可 決
議案第61号	平成28年度えびの市病院事業会計予算の補正(第1号)について	総 務 教 育	原 案 可 決
議案第62号	平成27年度えびの市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	総 務 教 育	原 案 可 決
認定第 1号	平成27年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	決 算 審 査 特 別 委 員 会	認 定
認定第 2号	平成27年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	産 業 厚 生	認 定
認定第 3号	平成27年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	産 業 厚 生	認 定
認定第 4号	平成27年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	産 業 厚 生	認 定
認定第 5号	平成27年度えびの市水道事業会計決算の認定について	総 務 教 育	認 定
認定第 6号	平成27年度えびの市病院事業会計決算の認定について	総 務 教 育	認 定

2. 請願・陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
請願第 6号	島津義弘公の銅像建設に関する請願書	総 務 教 育	採 択
陳情第 12号	水辺の楽校運動公園東側水田周辺の浸水防止のための早期築堤に関する陳情書	産 業 厚 生	採 択
陳情第 13号	平成22年度から、えびの市国際交流センター内で運営されていた自然食レストラン「のどか」について別紙の様々な疑念を調査、解明するため地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書	産 業 厚 生	継 続 審 査

平成28年度一般会計予算は6億264万円を追加し

総額 139億3,452万9千円

平成28年度 えびの市国民健康保険特別会計予算は4,831万6千円を増額し・・・総額42億7,908万3千円
 平成28年度 えびの市後期高齢者医療特別会計予算は976万5千円を増額し・・・総額6億4,875万6千円
 平成28年度 えびの市介護保険特別会計予算は9,813万7千円を増額し・・・総額33億7,650万6千円
 平成28年度 えびの市水道事業会計予算は 収益的収入は227万8千円を増額し・総額3億3,752万2千円
 収益的支出は394万1千円を減額し・総額3億3,094万7千円
 資本的収入は30万2千円を減額し・総額4億1,986万8千円
 資本的支出は67万4千円を増額し・総額5億3,057万3千円
 平成28年度 えびの市病院事業会計予算は 収益的収入は4,504万1千円を減額し 総額8億5,747万7千円
 収益的支出は933万8千円を減額し・総額9億8,095万7千円
 資本的収入は435万円を増額し・・・総額1,204万9千円
 資本的支出は600万円を増額し・・・総額2,054万9千円

9月 定例会

えびの市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例制定を議決

農業委員会委員定数は10名・農地利用最適化推進委員定数は18名

平成28年9月定例会は、9月2日から26日まで25日間開催し、報告2件・議案12件・認定6件・請願・陳情3件を審議しました。審議結果は前項の審議結果表のとおりです。

条例・その他の議案

条例・その他の議案は、それぞれの委員会の審査を経て、本会議でのすべてを原案のとおり可決しました。

●議案第52号 えびの市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について
 農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、新たに農業委員と農地利用最適化推進委員の定数を定めるための条例です。
 (詳しくは12ページの産業厚生常任委員会審査報告を参照下さい。)

●議案第53号 えびの市税条例の一部を改正する条例の一部改正について

外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律施行令等の一部を改正する政令の規定による要件を

備えるための条例改正です。
 (詳しくは11ページの総務教育常任委員会審査報告を参照下さい。)

●議案第54号 えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
 小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所の職員配置に係る特例として、当分の間、保育士に加えて保育士と同等の知識及び経験を有すると市長が認める者を置かなければならないことや、幼稚園教諭若しくは小学校教諭又は養護教諭の普通免許状を有する者を保育士とみなすなどの条例改正です。
 (※今回の条例改正対象となる事業施設は、現在えびの市内にはありません。)

予算・決算関係の議案

審査した予算・決算議案は前項のとおり13件です。

●議案第56号 平成28年度えびの市一般会計予算の補正(第5号)について
 今回の補正は、心のふるさと寄附金推進費1億6,601万円、農産

園芸事業に係る産地パワーアップ事業補助金5,400万5千円、中山間地域等担い手収益力向上支援事業補助金1,539万円、施設一体型小中一貫教育校整備事業に係る工事請負費1,238万3千円。
 歳入としては、普通交付税の決定に伴う地方交付税の増額、平成27年度決算に係る繰越金の増額等となっています。
 また、次年度入学生への飯野高等学校支援事業に伴う数年度を要する債務負担行為を設定します。
 (詳しくは13ページの予算審査特別委員会審査報告を参照下さい。)

●認定1号 平成27年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について
 平成27年度のえびの市一般会計決算額は、歳入が120億2,020万1千円(対前年度比5.5%増)、歳出が116億1,468万5千円(同5.9%増)となり、歳入歳出ともに対前年度比が増となりました。なお、平成27年度一般会計予算総額は123億2,958万8千円でした。
 (詳しくは14ページの決算審査特別委員会審査報告を参照下さい。)

一般質問

9月定例会では、13人の議員が登壇し、幅広く活発な議論がされました。その要旨を各議員が報告します。

「道の駅を拠点としたまちづくり」構想について



小東 和文
議員

質問 私が「道の駅を拠点としたまちづくり」構想を提案し一年が経過した。前定例会で五者会議の中で提案し、今後の方向性を考え結論を出すとのことだったが協議結果を尋ねる。

市長 五者会議の中で幹事会を作り、具体的に次の開発に向けたアイデア等を挙げていただくような会議を定期的に開く。可能性を追い求めていける施設であり、成長させていきたい。

質問 現在の上水道施設は昭和52年～55年に整備された。老朽化の進行による機能低下や風水害・地震等の自然災害、事故等が一気



駐車場満車の道の駅えびのの拡張を提案

に押し寄せてきた場合、ライフラインの保全と維持は確保できるか。耐用年数40年を目前に少しずつでも老朽施設・水道管の布設替えをしていくべきである。

市長 今の大型事業(山内水源)完了後の平成30年以降に財政状況と照らし合わせて計画して行く。

質問 再生可能エネルギーの有効利用について*「バイオガス発

将来を見据えた施策の展開を



栗下 政雄
議員

質問 飯野バス停にスマートインターチェンジ建設を合同会派、周辺の自治会長と検討中である。畜産団地や観光の問題において5年後、10年後の先を見据えた時に、交通網の整備は急務である。また関係省庁、関係大臣のところまで上京する段取りである。この件については私が陣頭に立つて行く決意である。

市長 スマートインターチェンジの開発の判断は行政としても、していかなければならないと思うが、えびの市全体の都市行政としても判断を下さないといけない部分もある。

電」を前向きに検討する考えはあるか。

市長 今年度中に「新エネルギービジョン」を策定する。その中

あると思う。そういった活動を通して情報提供していただければ、ありがたいと思っている。

質問 上大河平宮内水路の、その後の進捗状況は。

農林整備課長 県との協議をして交付決定を頂き、全区間1500メートルの調査計画委託業務を発注したところであり、その結果により地元説明会を予定しているところである。



で調査するようになっていく。

*バイオガス発電とは、家畜の糞尿を原料の主体として、その原料を発酵させて発電させることです。

新京町温泉駅に看板を



山元 豪
議員

質問 京町温泉駅の解体は、いつ頃になるものか。

建設課長 同駅の解体は平成30年度を目処としてJR九州並びに小林土木事務所等と協議している。

質問 今後建設される駅舎がわりの観光交流センターの完成は。

建設課長 完成は平成29年度を予定しており、本年度同センターの設計委託業務を発注している。

質問 京町温泉駅の大きな看板を道路沿い敷地に設置出来ないか。

建設課長 現在、県道京町小林線に道路標識案内が設置されており、今後行われる県道整備の際にその標識を看板がわりに利用できるように宮崎県にお願いしたい。観光交流センターには京町温泉駅の看板は設置できないが、同敷地内に同様な形で看板を掲げることが

できないか思案している。

質問 迷惑な空き家は、えびの市内にどれくらいあるものか。

財産管理課長 今年度、社会資本整備総合交付金事業としてえびの市空家等実態調査委託業務を去る8月24日に発注して、来年3月17日まで委託期間としている。この業務によりえびの市空家台帳データベースを作成する。



都市整備計画で取り壊しの決まった京町温泉駅

地方創生と板碑について



井上 義人
議員

質問 えびの市は純農村地域で農林産業が栄えないと、市の繁栄は望めない。中山間地域開発を早急に推進し、地場産業に着手することが、人口減少の抑制に繋がる。農産加工の思案はないか。また、創生事業の進捗状況は。

市長 まち・ひと・しごと創生推進会議を軸に、過疎化の現実と国の方針を見て、多様な働き方が実現できるふるさとづくり、人が集まり選ばれるふるさとづくり、希望をもって生涯設計できるふるさとづくり、いつまでも住み続けたいふるさとづくり、この4本を柱とし、国の動向を見極め進む。

質問 えびの市内には48件の文化財があるので、市の観光マップに日本一と言われる彦山の板碑や、榎田関所跡など江戸時代を偲ぶ重

要な文化財を掲載出来ないか。

教育長 榎田関所跡については掲載するように取り組む。彦山の碑文は有名である。史談会の意見を聴き、にしもる定任自立園共生ビジョン事業作成の時に検討する。

観光商工課長 教育委員会や市史談会等とは、常に意見交換を重ね助言を頂いている。市の重要な史跡の掲載については研究したい。



県の有形文化財になっている板碑

都市計画道路はどうする



宮崎 和宏
議員

質問 都市計画道路は40数年前計画されたもので、計画だけで全然手をつけられない路線もある。必要としない路線は早急に見直すべきと思うが。

建設課長 平成27年から都市計画マスタープランの見直しに着手している。自治会長を中心に関係者と協議しているところである。
質問 計画道路の中で、えびの中央線は、飯野五日市から真幸水流を結ぶ幹線道路として計画している。現在、飯野高校前から池島地区までは完成しているが、これから先の計画はあるものか。

建設課長 計画では池島から小田地区までの協議計画はしている。
質問 6月定例会で新田地区の広域農道に通ずる農道林道を有利な辺地事業で改良すべきと質問し

たが、その後どの様に検討されたものか。

農林整備課長 その後、周辺自治会長連名で農道一辻線道路改修及び市道格上げ（編入）に関する陳情書」が出されている。

質問 市職員は300人、臨時パート150人いるが、削減すべきと思う。

市長 最低でも必要であると思う。



今後も協議継続される都市計画道路

国際交流センター委託料の見直しが必要だ



西原 政文
議員

質問 国際交流センターの決算書で23年度236万円、平成25年度は1512万円繰り越しが出ている。これはどこに計上され扱いはどうなるか。この様な事態が起こる指定管理料の決め方はおかしいと考えるが問題はないものか。

市長 利用料金制度を採用しているのが当初からNPO法人に入るとようになっていく。基準を超えた3分の1を市に納入してもらう事としている。

質問 西境川水門にポンプが必要だが現在計画はなく、また、湧水町の阿波井堰の改修では、えびの市には影響しないという国土交通省の説明であった。対策を求め

市長 川内川改修促進期成会でも川内川河川事務所、国土交通省



指定管理者制度で運営されている国際交流センター

などにも排水ポンプの設置を要求してきた。今後も要求していく。
質問 えびの市の貧困率は深刻だと考える。また、貧困対策上実態を把握すべきだ。

福祉事務所長 えびの市の貧困率を説明する材料がなく、貧困率はわからないが、今後貧困対策を行うための実態調査を行う。

質問 貧困対策上、高校生までの医療費無料化をすべきだ。

市長 今後、子育て支援の後押しとして全体的な中で考える。

空き家対策の条例化を！



田口 正英
議員

質問 平成30年から米の生産調整が見直される。本市の基幹産業である農業をどのように進めていくかと考えているか。

市長 農業を取りまく環境は変化している状況である。しっかりと制度に対応しながら農業生産基盤が上がるように後継者の問題、担い手の問題等本市の農業を担っていく。

質問 米の消費減少を踏まえた水田農業の構造改革の一環で「水田の畑地化、汎用化」について。
市長 重要な問題である後継者の問題、新規の就農者等の確保には収益性の高さが必要とされている。現時点では担い手、法人の方等からの要望はないが、収益性の高い作物への転換を促しながら制度等を取り入れ積極的に取り組んでいく。



でいく。

質問 大きな社会問題となっている空き地、空き家対策を本市はどのように取り組んでいくのか。

市長 条例化を含め相談窓口であったり内部の連携をしっかりと取る。今回の空き地、空き家の調査の段階的な評価が出来るのでいろいろな苦情にどう対応していくのか公平公正に対応出来る環境を作っていく。

にこまる米贈呈について



本石 長永
議員

質問 にこまる米贈呈式に市側贈呈者側両方の出席者は。

総務課長 市側、市長、教育長他3名、贈呈者側、元気な農業を旨指す会会長 栗下政雄氏、他数名。

質問 市長に無記名の投書があったのか。

市長 市長部局には投書は来ていない。

質問 私個人宛の投書の中に現職議員の件に触れた文書があったので議員名を割愛して読み上げる。現職議員からの贈呈は寄付行為の違反になるのではないか。市長はどのようにお考えか。

市長 市長の立場として法律違反にあたるのか判断出来ない。

選挙管理委員会事務局長 選挙管理委員会として、地方自治法

186条により、この件が法令違反になるかの判断出来る立場にない。

質問 大辞林第三版によると、贈呈とは、公式の場で人に物を贈る事である。人に物を贈る事は寄付行為ではないのか。

選挙管理委員会事務局長 言葉の意味という事であれば、その通りだと考える。



豊かな自然を活用した観光振興策の推進



遠目塚 文美
議員

質問 えびの高原キャンプ村や白鳥キャンプ場内の建物は、現在、老朽化が進み使用していない。安全面や景観等を考慮し撤去出来ないか。

観光商工課長 国立公園内にあるえびの高原キャンプ場の建物は、以前より国からも撤去要請がある。白鳥キャンプ場の建物とともに、今後撤去を検討する。

質問 えびの高原キャンプ村の入浴施設も老朽化が進んでいる。改修等は出来ないか。

観光商工課長 環境省の「国立公園満喫プロジェクト」（日本国内8ヶ所の国立公園が対象）に、霧島錦江湾公園が選定された。その中にえびの高原も含まれており、入浴施設の改修等、このプロジェクト活用も視野に今後検討してい



先日、川内川で開催されたSUP体験会

質問 年次計画で改修中のえびの高原キャンプ村ケビンに、バリアフリー型ケビンの建設は出来ないか。

観光商工課長 今後、バリアフリー型ケビン建設も検討する。

質問 えびの市の豊かな自然を活かしたアウトドア推進で、更なる観光振興を図れないか。

観光商工課長 川内川での*SUP体験やキャンプ場利活用等、新たなアウトドア推進の提案がある。

*SUP（スタンドアップパドルボード）とは、大きめのサーフボードのようなボードの上に立ち、パドルで漕ぐ新しいウォータースポーツ

企業の意欲を「進出」に具体化する可能性を高めているか



池田 孝一
議員

質問 西郷工業団地整備の片内プロジェクトチームは進展しているか。

企業誘致対策監 基本計画策定作業の進捗と並行して検討するものであり、まだ進んでいない。

質問 大変心配する。現時点でも明らかにすべき重要課題などが、基本計画策定完了後の、いつ説明できるのか。

市長 できれば、基本計画が出来上がり後、あまり間を空けない時点で財政シミュレーションなど重要課題に答えたい。

質問 本市の企業誘致で、今、最有力適地は「九州パーミス跡地」だと指摘したら、これを認めた。この土地の売り込みはどの程度進んでいるのか。

企業誘致対策監

12社に打診し、



企業誘致の最有力候補地である九州パーミス跡地のセールス力に期待

その内数社から好感触を得ている。
質問 ならば、西郷工業団地の整備を待たず、全力でこの土地への企業誘致に取り組めないか。
市長 現在、九州パーミス跡地は常にセールスしている。
質問 いつまでに誘致すると宣言できないか。
市長 相手があることだが、なるべく早く具体化したい。

農政レポート



上原 康雄
議員

質問 JAえびの市が最新の設備を備えたイチゴ生産を主体とした大型ハウス団地を建設して新規就農者を募集するなど、若者の就農を支援する事業に取り組みることになった。えびの市へ助成の要望もあると思うが、市の対応は。

市長 新規就農者の受け皿となる収益性の高いイチゴの栽培施設を備えた入植団地の整備をJAえびの市とともに進めていく。来年4月からの事業開始を目指し、市やJAえびの市のホームページなどで告知を行って新規就農者の確保を進める。

質問 来年9月の第11回全国和牛能力共進会に向けて宮崎県代表牛の選定が行われていると思うが、えびの市から候補牛がいるのか。

畜産農政課長 現在、2017



前回、長崎県で開催された全国和牛能力共進会

年7月の県代表決定選考会に向けて、えびの市から1頭の候補牛を出品することが決まっている。前回の全国和牛能力共進会では、えびの市から2頭の出品があり素晴らしい成績であった。今回も市からの出品に全力で取り組む。

体育施設の管理レポート



北園 一正
議員

質問 市の12体育施設は指定管理者を非公募により選定し、市内の体育関係者等で組織されたグループで管理している。非公募とした理由を伺う。

教育長 体育施設の管理は、「えびの市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」を管理者として指定している。非公募とした理由は、現在まで体育館や野球場の管理実績があること。生涯スポーツ推進のためにも、地域スポーツクラブの強化育成を図る必要があることから、非公募として選定した。

質問 施設の適切な管理を行うには、管理業務仕様書が重要な役割を果たす。各施設の仕様書は策定しているのか。

社会教育課長 施設ごとの仕様書は策定していない。施設の利用

状況や、現場の状況を判断して管理作業を行っている。

質問 仕様書に沿って管理業務を実施しないと、適切な管理はできない。策定の状況はどのようになっているか。

社会教育課長 今後先進事例の調査研究を行い仕様書を策定して、体育施設の管理が適切に行われるように努める。



指定管理者による適正な管理が求められる市内体育施設

市民通報は確実に



蔵園 晴美
議員

質問 8月16日午前2時頃、市民体育館付近で水道漏水に気付いた市民が市役所に電話通報したが対応がなかった。警備員はいかなる時でも電話対応ができる体制でなければならぬ。巡回中に一般電話の子機使用では電波が届きにくく、警備員の業務上支障が生じる。早急な措置が必要だ。

市長 市民からの通報が伝わらなかったことをお詫びする。外からの通報が取れる様に早急に環境を整える。

質問 えびの市内で生産された原料を使用した加工食品、市内で製造された加工食品を地域ブランド化して、農家所得・製造業関係の所得向上に向けた【特産品認定制度】の取り組みを提案している。

市長 以前より提案いただいて



いかなる場合も早急な対応が求められる通報措置

いる。販売促進協議会などで基準の論議がなされているが認証基準がなかなか定まらない。担当には年度内に方向性を出すように指示している。

観光商工課長 既存のシールがあり基準づくりがむずかしい。今後、各協議会との話を進めていきたい。



えびの市議会議場

議会傍聴 しませんか

手続きは簡単です。

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告をうけます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやエチケットは、お守り下さい。

議案等の 審査

総務教育常任委員会報告

9月定例会において、当委員会では、議案4件、認定2件、継続審査案件の請願1件について審査しました。審査の結果、全ての議案は原案のとおり可決及び認定すべきものと決し、請願は採択となりました。

以下、主な審査内容を報告します。

①議案第53号 えびの市税条例の一部を改正する条例の一部改正について

今回の改正の主なものは、外国の法令に基づく法人等から支払いを受ける所得として取り扱われる事業所得のうち、特例適用利子等又は特例適用配当等については、当該特例適用利子等の額又は特例適用配当等の額に係る所得に対する市民税の所得割を分離課税するものです。

Q…えびの市における対象者に関することや、今回の改正によって日本の方の利益を保護するためということ、商取引上そういった条約が結ばれていないた

めに、二重課税にならないための措置であると理解して良いのか。

A…えびの市には、今回の改正に伴い直接影響を受ける方はいない。二重課税に関しては、そのような理解で問題はない。

②議案第61号 平成28年度えびの市病院事業会計予算の補正(第1号)について

一般会計からの繰出金について、今回総務省が作成する地方財政計画で用いる算出基礎へ見直したものであり、その結果として医業収益における他会計負担金は、救急医療の確保に要する経費のみとなり、補正額が4,603万4千円の増となったもので、医業外収益についても同様の見直しを行ったことによるものです。

Q…医業収益及び医業外収益について、それぞれ繰出金等の見直しを行い、従来の積算方法から今回総務省の繰出基準どおり100%繰入をすると、今回の医業収益から医業外収益それぞ

れにおける他会計負担金となり、他会計補助金の増減があったという理解でよいのか。

A…不採算経費を積算基礎とするパターンに加え、総務省が毎年度地方公営企業繰出金について通知する積算基準例として、地方財政計画の積算を参考とするパターン、各団体の実態を踏まえ不採算経費を積算するパターンというのを示しており、今までは地方交付税の参入基準を参考とするパターンを当市は用いていたが、今年3月の全国自治体病院協議会の説明会で提出された報告では、地方財政計画の積算を参考とするパターンで積算を行うという提言をいただいた。その方法で積算できるものは、今回組み替えを行ったものである。

④請願第6号 島津義弘公の銅像建設に関する請願書

A…現在徴収員を2人雇用しており、分納誓約をしていたが、滞納者を対象に回っていたが、職員についても給水停止等のときに向いて未収整理を行っているところである。

現在請願者が建立場所として想定されている道の駅について、執行部としての考えが問われましたが、執行部としては亀城公園や木崎原古戦場跡といった義弘公ゆかりの場所に建立することが本来の姿であると思う。しかし、当初から民間の団体が道の駅を想定され、主体性をもって活動されていることから、現時点では請願者の意向を受けて道の駅に建立することで理解しているとの事でありました。

総務教育常任委員長

小東 和文

③認定第5号 平成27年度えびの市水道事業会計決算の認定について

Q…未収金に対する現在の対応について

議案等の 審査

産業厚生常任委員会報告

当委員会では、去る9月12日、13日の2日間で、議案7件、認定3件、陳情1件と6月定例会において、継続審査としておりました陳情1件につきまして、審査を行いました。議案7件、認定3件を可決及び認定し、陳情1件を採択1件は継続審査となりました。以下主な審査内容を報告します。

利用最適化推進委員となる。農業委員会委員の定数は10名、農地利用最適化推進委員の定数は18名である。

付をしており、食費が年間5,019件、居住費か2,640件で、合計7,659件となっている。

いる浸水想定区域の完全な防止というのは、非常に厳しい状況であるが、陳情の趣旨を真摯にうけ取り、重に調査、審査を重ね採決の結果、採択と決しました。

②介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

Q…滞納繰越分普通徴収保険料は、
A…調定額996万8045円、
収入済額166万6711円、
不納欠損額282万1725円、
収入未済額547万9609円、
収納率16・72%で、不納欠損額の人数は191名となっている。

③陳情第12号 水辺の楽校運動公園東側水田周辺の浸水防止のための早期築堤に関する陳情書について

6月定例会後、閉会中の委員会において国土交通省京町出張所で築堤に対する説明を受けて、現地調査も実施した。川内川の河川管理についての状況、浸水想定区域は、川内川において相当高い降雨強度があった場合に、想定される区域ということ、川内川沿線の盆地地域であるえびの、吉松、宮之城、川内地域においての沿線はすべて浸水想定区域である。川内川が豪雨により溢れた場合に、内水面の方に浸水すると想定されて

④陳情第13号 平成22年度から、えびの市国際交流センター内で運営されていた自然食レストラン「のどか」について別紙の様々な疑念を調査、解明するため地方自治法に基づく百条委員会の設置を要望する陳情書について

本陳情については、陳情内容を調査し、提出された関連資料の熟読期間も必要であり、閉会中の継続審査と決しました。

①えびの市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

Q…農地利用最適化推進委員とは。
A…法の改正により畜産農林課が、窓口となり、市長が任命をし、議会の議決を経て農業委員会が決定する。また、農地利用最適化推進委員の募集、委員の選考については、農業委員会事務局が窓口となり、農業委員会の総会で決議し、委嘱により、農地

A…特定入所者介護サービス等費は、介護保険施設に入所した短期入所と短期入所サービスを受けた時の負担を軽減するため、原則、食費と居住費は自己負担になるが、それに対して補足給

産業厚生常任委員長

井上 義人

予算審査特別委員会報告

平成28年度一般会計予算の補正

9月定例会において、当特別委員会に付託された案件は、議案第56号平成28年度えびの市一般会計予算の補正（第5号）についての議案1件であり、1日間の日程で審査を行いました。

審査の結果、討論はなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。以下審査の内容の主なものを報告します。

① 広域連携推進事業費について

Q・・肥薩線を未来へつなぐ協議会負担金の全額減額となった理由は。

A・・本協議会は、肥薩線の世界遺産登録とD51型蒸気機関車運行の復活という大きな目的を掲げて平成23年に発足し、これまで要望活動や調査研究、情報発信等を行ってきたが、この大きな目的は大変ハードルが高く、実現の可能性について中々見通しがつかない状況が続いている中、今年8月31日の総会におい

て、人吉市から協議会の解散について提案がなされた。

えびの市としては、これまで議会や市民のご理解をいただきながら予算を付けていただいた経緯から、解散については反対をした結果、当該議案は、協議会を構成する14市町村の意向確認と、今後の協議会の方向性を検討していくことになり、また、今年度の負担金は求めないという追加議案が可決されて今回の減額となった。

② 地域介護・福祉空間整備推進事業について

補正の内容は、介護サービス事業者が介護ロボットを導入する際の経費の一部を助成するものです。Q・・市内の3つの事業所に導入するということだが、介護ロボットはどういうものか。また導入施設はどこか。

A・・ひとつは、介護者を抱きかかえる際に腰に負担が掛からないように介護職員が装着する移乗介護ロボット。もうひとつは、

見守型ロボットで、身長が40センチ程度で2足歩行ができ、100名程度の名前を認識し会話も出来るもので、テレビ等につないでレクリエーションを行ったり、健康体操などの作業が出来るロボットであるということ。そして導入する施設は、移乗介護ロボットを介護老人保健施設さくら園と京町温泉ショートステイさつき園に、また見守型ロボットを特別養護老人ホーム八幡の里に導入する。

③ 施設一体型小中一貫教育校整備事業費について

補正の内容は、平成29年度に設置予定の上江小学校校舎の空調設備について、文部科学省の交付金が前倒しで実施できる見込みができたことから、今回、工事請負費が計上されたものであります。Q・・上江小学校校舎は前倒しで行うとのことだが、他の学校の現状は。

A・・これから年次的に予算をお願いする予定であるが、他の学校の空調設備は整っていない。Q・・今後の他の小・中学校への空調設備の考えは。

A・・現時点では平成29年度に中学校、30年度に小学校を考えている。

Q・・考えは分かるが、できれば同じ環境下で教育は行われるべきであり、来年度へ向けて予算を計上するように努力してほしい。

A・・予算要求にあたって一斉にということでも検討していきたい。Q・・現在はほとんどの家庭に空調設備はあるが、学校には無い状況であり、保護者からも今年の夏は暑くて子どもが帰宅したら疲れているという声も聞く。また、低学年の子どもについては抵抗力も弱いので、できれば来年度予算で全小・中学校に空調設備を整備していただきたいと考えるが。

A・・学校施設については他にも外壁工事や屋根の改修などもあり、中学校を先に整備した後、小学校をとの考えであった。意見をいただいたので、改めて教育長とも協議したい。

予算審査特別委員長

上原 康雄

決算審査特別委員会報告

平成27年度決算審査結果

9月定例会において、当特別委員会に付託された「認定第1号平成27年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、9月15日・16日及び20日の3日間の日程で、歳入、歳出、基金などについて、事業等の成果や予算管理、執行状況を中心に審査を行いました。審査の結果につきましては、討論はなく、全会一致で認定すべきものと決しました。以下、審査内容の主なものを報告します。

①地域公共対策費について

この事業は平成27年10月からスタートした事業で、高齢者又は運転免許証を持たないいわゆる交通弱者に対して、タクシー利用料金の一部を助成する制度です。

Q…予算額に対する執行額の率が19・67%であり、発行枚数累計に対して16・7%の低い利用率である。その理由と結果を分析して、今後の課題をどのように見ているか。

A…助成券の発行については当初の目標を大きく上回る申請があ

ったが、実際に券を使ってタクシーを利用された数の実績が伸びなかった。その理由については、制度そのものが分かりづらい事業であったところが大きいと見ており、また、福祉事務所と連携して福祉タクシーとの併用が可能だったが、初乗り580円圏内の移動には利用できない制度となっているため、申請はしたが利用しなかった方が大半ではないかと考える。年度が変わる時に、27年度に交付された方で、平成28年度に申請された方にアンケートを行っているが、基本的に制度そのものには満足しているという感想を得ており、日常生活での移動範囲が想定していた以上に近い距離であったところが課題である。

Q…課題等の分析もされていることなので、制度の見直しの考えがあるのか。

A…今年7月29日に開催した公共交通確保維持協議会において現状を説明し、たくさんの意見をいただいております。昨年10月からスタートした事業なので、1年間しっかりと見極めた上で分析をし、いろんな関係者ときちん

と協議した上で、見直しを図っていきたい。

②健康増進事業費について

Q…主な健康診査の受診率は。

A…胃がん検診が7・9%、大腸がん検診10・9%、肺がん検診が6・7%、前立腺がん検診が6・9%、子宮がん検診が10・1%である。

Q…受診率が30%台を継続している市町村もあると聞くが市町村間で情報を共有して受診率の向上に努めるべきではないか。

A…受診率が非常に低いことが悩みの1つであり、今後は関心のない方への対策について検討していきたい。

③誘客事業費について

Q…市が公費を投じているが、事業全体の費用対効果について、実際えびの市への誘客に繋がっているのか。

A…イベント事業の効果は目に見えない部分もあるが、今回、平成28年度事業ではあるが、宿泊キャンペーンで応募券を発行したり、福岡ドームのイベントでラッキーナンバー抽選により道の駅のランチ券を配布するなど

して、数値をつかむ。

④公債費について

Q…平成27年度決算においては借入額が償還額を上回っている。これまでは償還額を下回る借入額であった。また借入額は8億円以内という内部のルールを持ちながら財政運営に努めてこられたことを踏まえ、今後、大型事業に対する資金繰りのための借入等が考えられる。平成27年度、28年度を基点として、どのような見通しを持っているのか。

A…今後2年から3年の間で大きな事業が計画され、平成28年度においても12億から13億の借入があり、今後2年から3年くらいまで同じ水準で推移し、その後にもまた8億から9億の水準に戻ると想定している。また償還額については据え置き期間があり、その期間によって償還額が減ることになるが、平成31年以降にはまた償還額が増えることを想定している。

決算審査特別委員長

上原 康雄

各常任委員会の視察報告

総務教育常任委員会

平成28年7月26（28日）の3日間で総務教育常任委員会の行政視察（香川県綾川町陶病院・坂出市）を行いました。主にえびの市立病院の経営について、平成27年度補正の議案で医師不足の問題があり、えびの市に医師が来ない要因は何だと考えているのか。施設や医療機器設置のことも考え経営分析等もしながら、どういった方向を目指すべきなのか。この平成28年度に作成する改革プランという位置づけを、しっかりと見据えて真剣な議論のもとにプランを作っていたいただきたいとの意見等があり、今回の公立病院の視察研修となったものであります。（委員が5名、えびの市立病院から河内院長、看護師長、事務長の3名も同行。）

病院経営の現状について、院長から病院施設概要の説明を受けました。院内の視察を終え事業概要組織、決算、経営の推移等の説明があり、特に老人介護支援センターの介護予防通所リハビリテーションでは理学療法士、作業療法士が利用者一人一人の身体機能を評価し、作成した個別リハビリテーションプログラムを中心に訓練を行っており、ストレッチ体操などの機能維持運動や日常生活の上で大切な基本動作の訓練も行っている。またデイルームでは介護、看護スタッフが利用者のニーズに合わせて作成した計画書に基づいて歩行訓練の他、手芸・カラオケ・書道など自分の趣味を生かした生活リハビリに加え、頭脳を使ったゲーム、上・下半身にポイントを置いての運動を交えた集団でのリハビリを行っており、職員指導についても全ての面で他の人との交流を図り、楽しみながら自然とリハビリが続けられるようにスタッフがフー同心掛けているとのことであ



香川県綾川町陶病院での視察研修

りました。

また、公立病院の役割、医師確保については院長自身が医学生と接触、地域医療の集いに顔を出すなど繋がりを持つようにしているそうです。入ってすぐに辞めるドクターもいるが、奥さんが臨床検査技師で夫が医師の場合、奥さんの地元に移られるケースもあるとのことでしたので、えびの市もこれを調査して、働きかけるといっても名案ではないかと思いました。いずれにしても現在のえびの市立病院の経緯からみると医師確保と経営維持コンサルが必要であり、少子高齢化、人口減少等によって民間病院も厳しくなっている状況の中で、公立病院としての役割、目先の経営だけに捉われず市民が安心して市立病院に通えるような環境づくりも必要ではないかと痛感致しました。

総務教育常任委員長

小東 和文

えびの市森林・林業・林産業活性化議員連盟

えびの市森林・林業・林産業活性化議員連盟の現地調査研修を行いました。8月2日、農林整備課同行のもと午前中に岡元地区での

伐採現場、午後から製材所の工場視察でした。伐採現場では、新出水林業（有）が補助事業で導入された最新型林業用機械ハーベスタを一名のオペレーターのみで扱い、枝を落とし次々と原木を生産されていました。

工場視察では、立石林業（株）の飯野製材所内で原木が製品に変わっていく様子を見ました。また木材の加工や林業の歴史など学びました。

本市の基幹産業は、畜産・林業であります。今回の研修を通して豊富な森林資源を有効利用し、林産業の活性化に努めたいと思います。

えびの市森林・林業・林産業活性化議員連盟

山元

豪



高性能林業機械を活用した作業現場の視察

議会報告会を開催しました

えびの市議会基本条例に基づき、8月3日えびの市文化センター2階研修室において、昼の部と夜の部の2回に分けて議会報告会を開催しました。

主な質疑応答

Q…介護保険料が県内ワースト・ワンだ。なぜこんなに高いのか。また、そうした状況を行政や議会が情報発信することも重要だ。どう考えるか。議会は危機感が低い。また今後どうなるのか教えて欲しい。

A…基準額が県下で一番高い。これは補助金が満額もらえないこと、減免対象の人が多いのが原因だ。支出についてはこれを抑えるため、現在、百歳体操に取り組んだり、健康診査などに力

を入れている。一昨年から国民健康保険税・介護保険税の制度が変わり、これが負担額を押し上げている。議会として国に声を上げていきたい。

Q…工業団地問題は重要な問題だと思うが、基本条例10条の発動はないか。
A…議員がそれぞれの立場で問題にしている。

Q…えびの市立病院のことを聞きたいが、この収支をみると経常収益よりも、費用の方が多く、給与が多いとなっている。病院

は建物も何十年も経ち、中も傷んでいる。そのような中で、市民の方は民間病院を使うことになると思うが、議会ではどのように考えているのか。

A…言われるとおり、施設の老朽化ということは、市民の声を伺っている。ただ単に病院を新しくすることではなく、今後どのような形で市立病院を残していくべきなのかの視点で、今、病院の改革プラン等を国・県そして市も取り組んでいるところである。危機感をもち、市民の皆さんの意見を伺い、プランを作ることで、官民一体となった病院の経営を構築する方向になって行くことと思う。

Q…火災発生時の防災無線の放送内容について、場所がはっきりしない。地区名は言うがどこ辺りが火災なのか。また、鎮火の放送もないので消えたのか延焼中か不安だ。

A…放送については、西諸広域の2市1町の取り決めで決まっている。広域の会議があるので確認したい。



【平成28年6月】

23日 全員協議会
議会運営委員会
6月定例会閉会

全員協議会

議会広報常任委員会

第49回えびの市観光協会総会

正副委員長会議

平成28年度中国留学生歓迎会

【平成28年7月】

1日 議会広報常任委員会
4日 全員協議会

議会広報常任委員会

平成28年度南九州中部市議会議長会議員研修会

平成28年度えびの市消防団夏季点検・操法大会

行政視察（大阪府泉南郡岬町議会） 来庁

西諸森林・林業・林産業活性化議員連盟総会

行政視察（香川県丸亀市議会） 来庁

全員協議会

総務教育常任委員会

行政視察（総務教育常任委員会）（28日）

【平成28年8月】

2日 えびの市森林・林業・林産業活性化議員連盟現地
調査研修

3日 平成28年度議会報告会（昼の部）

平成28年度議会報告会（夜の部）

第26回人権を考える市民のつどい

行政視察（宮崎県議会みやざき創生特別委員会） 来庁

26日 全員協議会

29日 産業厚生常任委員会

30日 議会運営委員会

総務教育常任委員会

【平成28年9月】

2日 9月定例会開会
会派代表者会議

アンケート調査のお願い

議会だよりアンケート調査

問1. 議会だよりの全体的評価をお聞かせ下さい。

- 1 大変良い 2 良い 3 普通
4 もう少し努力が必要 5 まだまだ努力が必要

問2. より良い議会だよりにするために、次の2点について工夫すべきことは何かお聞かせ下さい。

- 1 文字の大きさやレイアウト関係については？
2 記事の内容、報告してほしい事柄などは？

問3. 上記のほか、議会だよりに関して何でも結構です。ご意見やご感想をお聞かせ下さい。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、是非アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

「えびの市議会だより」は、市民の皆さまに議会の説明責任を果す一端を担っており、私達議員自らが筆を執り発行しています。

また、発行に携わる委員会も「議会広報常任委員会」として、一層の使命感を注ぎ、紙面づくりに工夫を重ねております。

ついでに、「議会だより」が一層市民の皆さまにとって分かりやすいものとなるよう、今後の紙面づくりに役立つためのアンケートを実施します。

ご協力ありがとうございます。記入後は切り取ってそのままポストに投函して下さい。 ※切手不要



議員別表決

「表決が割れた」議案等とその議員別表決

議案等賛否一覧表（※賛否がわかれたもののみを掲載しています。）

議案番号	議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果
		竹中	遠目塚	山元	小東	田口	井上	北園	上原	池田	本石	西原(義)	西原(政)	蔵園	宮崎	栗下	
議案第52号	えびの市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	原案可決

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 欠：欠席 -：棄権 /：議長は採決に加わりません



編集後記

秋の稲刈りの時期が終わり涼しい季節になりました。実りの秋とはいいますが本市の米の生産者にとって、うれしいニュースが報道されました。昨年より「えびの産ヒノヒカリ」が県内初の特Aを取得して、本年は宮崎県のブランド品として認証されました。この風光明媚なえびのの市民として、また、

米の生産地として、このニュースはとても誇らしい事であります。第98号「えびの市議会だより」の編集から担当して4年目になり13回目です。少し余裕もできました。実るほど頭を垂れる稲穂かな。このことわざの様に初心を忘れず頑張る所存であります。今後も議会だよりのご愛読をよろしくお願いいたします。

議会広報常任委員会 山元 豪

郵便はがき



料金受取人払郵

889 4290



差出有効期間
平成29年
3月31日まで

◎議会だよりに関するアンケート調査

(受取人)
宮崎県えびの市大字栗下1292番地
えびの市役所 議会事務局 行

バーコード



※該当する年齢を○で囲んでください。

20才未満

20代～30代

40代～50代

60代～70代

80代以上